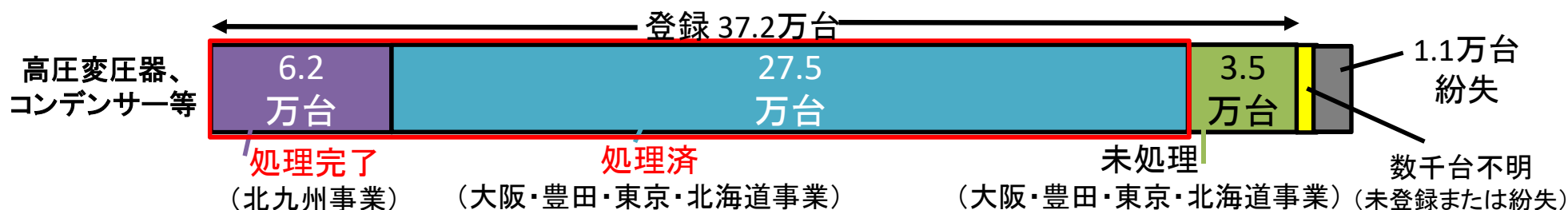


PCB廃棄物の適正処理推進に向けた環境省の取組

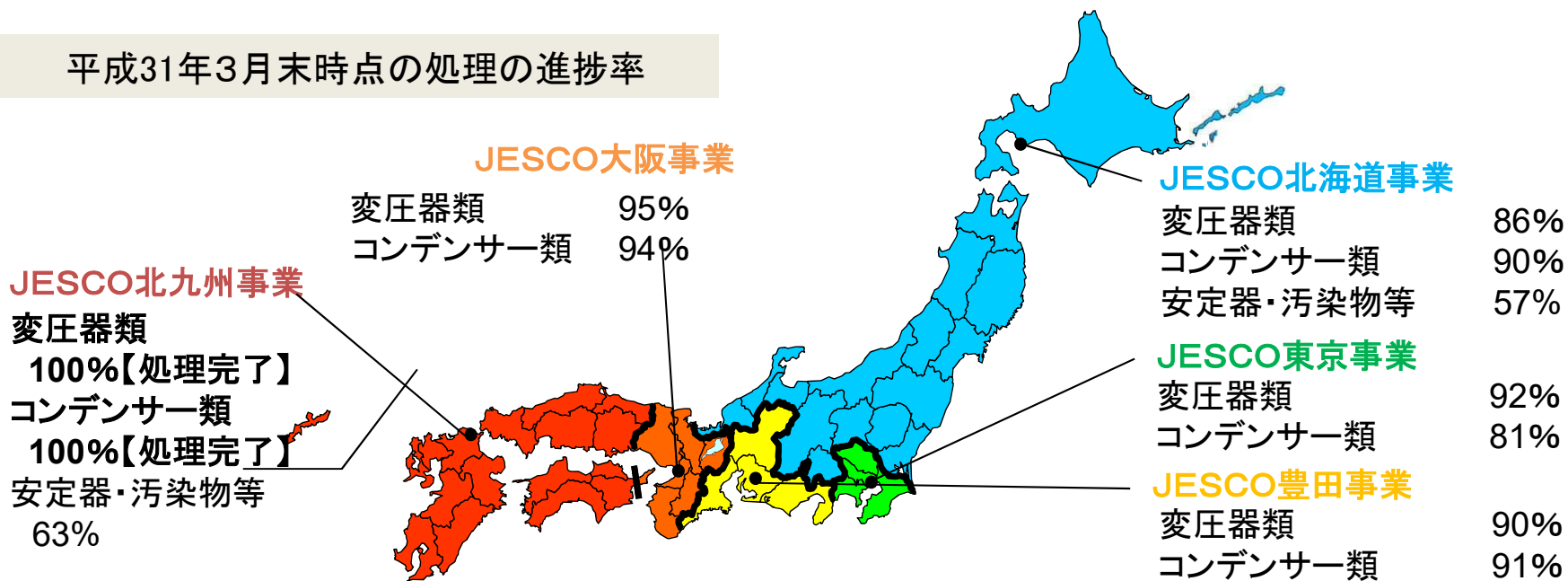
令和元年8月
環境省 環境再生・資源循環局
ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室

我が国全体のPCB廃棄物処理事業の進捗状況

- PCBを使用した高圧の変圧器、コンデンサー等は、約39万台が国内で使用された。このうち約1.1万台は平成10年までに紛失したとされる。
- JESCOには、平成31年3月時点で、変圧器 約1.7万台、コンデンサー 約35.5万台の計約37.2万台が、処理対象として登録されており、このうち変圧器 約1.5万台、コンデンサー 約32.2万台の計約33.7万台を処理した。登録台数に対する処理の進捗率(全国平均)は、変圧器92%、コンデンサー91%である。
- 安定器・汚染物等については、約1.7万トンが登録されており、このうち約1万トン进行处理した。登録量に対する処理の進捗率(全国平均)は60%である。



平成31年3月末時点の処理の進捗率



都道府県市による掘り起こし調査の支援

- PCB廃棄物等の掘り起こし調査に際して、相談窓口の設置、専門家の現場派遣を実施。
(受託機関:公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団)

相談 窓口

(1) PCB全般に関する 相談窓口の設置

- ・PCB 廃棄物に関する日常の問合せ等への対応
- ・自治体関係者や一般事業者等からの相談を受付

(2) 掘り起こし調査の 相談窓口の設置

- ・調査票の記入方法等に関する問合せ等への対応

専門家 派遣

(3) 現地調査及び立入 検査の支援

- ・自治体施設の現地調査や事業者への立入検査へ同行
- ・PCB含有の電気工作物の見分け方の説明、助言
安定器の設置場所、見分け方の説明、助言、調査の実演

(4) 自治体担当者向 け説明会

- ・保健所、施設課、学校教育課等の職員を対象に実施
- ・内容は、PCB含有の電気工作物、安定器等の掘り起こし、
判別方法など、要望に合わせて調整

(5) 事業者向け説明 会

- ・一般事業者、保管事業者を対象に実施
- ・内容は、PCB含有の電気工作物、安定器等の掘り起こし、
判別方法など、要望に合わせて調整

PCB廃棄物の適正処理を促進する周知、広報の計画

背景

- PCB廃棄物等の早期処理を達成するため、PCB廃棄物を保管する事業者に向けた周知・広報が重要であり、多くの自治体から、マスメディアを活用した大規模な広報、テレビCM等の全国的な広報を実施してほしいとの要望も寄せられているところ。
- テレビCMによる広報については、昨年度末に照明器具のPCB使用安定器の処理促進にかかる広報を全国で実施した結果、それを見た事業者から数多くの問合せがあり、一定の効果が確認されている。

今年度の主な広報計画(案)

- テレビCMによる全国的な広報
 - 変圧器やコンデンサーの適正処理に関する内容(北九州事業地域以外)
 - 照明器具のPCB使用安定器の適正処理に関する内容
 - 地方紙等を利用した、特定地域への集中的な広報(一部地域)
 - PCB廃棄物等の適正処理に関する内容
- ※実施時期、内容の詳細等は検討中。



(参考)昨年度テレビCMのイメージ